

## 取扱説明書ご参照上のご注意

\* こちらの商品は、製造時期によって  
ご参照いただく取扱説明書が異なります。

### ■新タイプの場合

⇒ 2~3ページのARQ-012Qを参照ください

光センサーによる秒針停止機能付き

### ■旧タイプの場合

(2010年まで製造していました)

⇒ 4~5ページのARQ-009Jを参照ください

光センサーによる秒針停止機能無し

## 必ずお守りください。安全上の注意 ▶

### △ 警 告

#### <アルカリ電池について>

- (1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。  
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

#### <梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

### △ 注 意

#### <掛け方について>

時計は確実に掛けしてください。

落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。

掛けれる場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を用意してください。

記載以外の取扱いの場合は、建築メーカー等へご相談ください。

掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右して手前に軽く動かし、正しく掛けていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき  
添付の掛け具をご使用ください。



石膏ボード・コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき  
添付の掛け具は使用しないでください。  
市販の掛け具をご使用ください。

必ずお読みになってからご使用ください。

### 使用場所・お手入れ ▶

#### 使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

温度が +50 (50度) 以上になる所や直射日光のある所。

例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。

温度が -10 (氷点下10度) 以下になる所。

[プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。]

床、埃の多い所。

[空気中に舞い立つごみが電車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。]

大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。

[磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。]

浴室など温湿度の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

振動のある所。不安定な所。

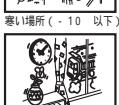
工場、台所など多くの油を使用する所。

[霧に包まれた油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。]

木枠・金属枠の時計の場合

[よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。]

壁や敷物および時計を汚したり傷めることができます。



#### お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。

[磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。]

浴室など温湿度の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

振動のある所。不安定な所。

工場、台所など多くの油を使用する所。

[霧に包まれた油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。]

木枠・金属枠の時計の場合

[よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。]

お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

## 製品仕様 ▶

精

度：平均月差 ± 2.0 秒  
(電波受信による時刻修正を行なわない場合)  
(気温 5 から 35 で使用した場合)

表示 精 度：± 1 秒 (時分針は ± 3 度)  
(電波受信による時刻修正を行なった直後)

使 用 温 度 範 囲：- 10 ~ + 50

使 用 電 池：半2アルカリ乾電池2個 (JIS規格LR14)  
単3マンガン乾電池1個 (JIS規格R6P)  
単3アルカリ乾電池 (JIS規格LR6) もご使用になります。

電 池 寿 命：約 1 年

(下記報時時の設定で、1日につき音量 (中) の  
状態で 16 回報時した場合)

電 波 受 信 機 能：自動受信 (1 日 8 回)  
(受信から次の受信まではクオーツの精度で  
動いています。)

手動受信 (強制受信)  
40kHz, 60kHz のいずれか受信しやすい  
電波を自動受信します。

受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果を LED ライトで表示

時 刻 合 セ 機 能：電波受信による自動セッティングまたは手動セッティング

報 時：ウエストミンスター・チャイム + 数取り  
ウエストミンスター・チャイムの四所打ち  
(正時には数取りを行います)  
正時数取りのみ  
~ の切替式

夜間鳴止め機能：光センサーによる自動鳴止め  
(「常時鳴らす」暗時鳴止め「鳴止め」の切替式)

光センサーによる

自動秒針停止機能：暗くなると「12 時の位置」で停止します。  
(切替スイッチ A が「常時鳴らす」の場合は無効)

音 量 調 節：無段階式

\* 上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご  
愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取  
扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。  
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合  
があります。  
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら  
責任を負いません。  
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことが  
ございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品  
番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問  
い合わせください。

(例：AM 、 PW 、 KG など)

フリーダイヤル  
お客様相談室 0120-315-474

http://www.seiko-cbck.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 ARQ-012Q

## 保証・アフターサービス ▶

この時計はメーカー保証です。

保証の内容については別添の保証書をご覧ください。

尚、保証書は日本国内のみ有效です。

また、アフターサービスも海外ではできません。

保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

この時計の修理用部品は、7 年間保有しています。

この期間は原則として修理が可能です。

修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。

修理のとき、部品・その他の付属品は、部品代替部品を使用させていたいこともありますので、ご了承ください。

保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

この期間は原則として修理が可能です。

修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。

修理のとき、部品・その他の付属品は、部品代替部品を使用させていたいこともありますので、ご了承ください。

保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛け費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

この期間は原則として修理が可能です。

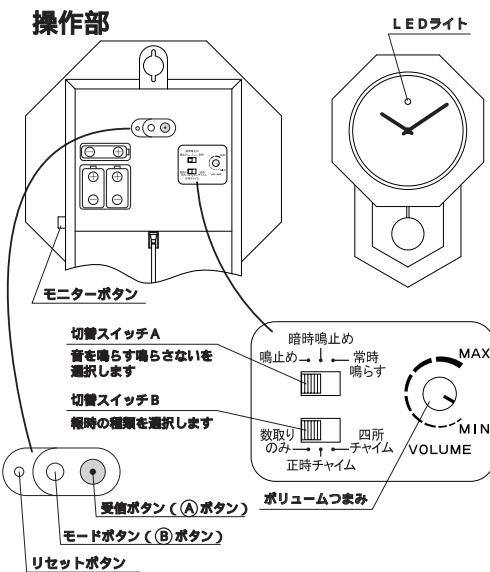
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。

## 故障かなと思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症 状	考 え ら れ る 原 因	処 置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。 ・静電気などでマイコンが誤作動している。 ・受信中または時刻修正中である。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子や接片の片面を拭いてください。また、電池を入れて2~3回まわしてください。 ・リセットボタンを押してください。 ・受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセットボタンで動作中である。	・時刻修正動作が終了したら、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きしめなどセッティングされている。	・裏面「運針が正常でなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指で新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
チャイムが鳴らない	・切替スイッチが「鳴止」になっている。 ・ボリュームが下がっている。 ・暗くなりセンサーが作動している。	・スイッチを「鳴止」または「鳴止」にしていると鳴くなるとチャイムは鳴まません。時計の周囲が暗くなると鳴ります。
振り子が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・振り子がロックされている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・裏面「ご使用方法」にしたがって、振り子のロックをはずしてください。

## ご使用方法



### ご注意

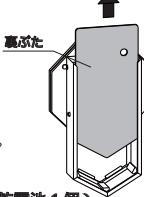
時計のデザインにより LED ライト及び電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。



### ご使用方法

#### 1. ふたを開けてください

裏ふたを上にひきあげて開けてください。



#### 2. 電池を入れてください

(単3アルカリ乾電池2個、単3マンガン乾電池1個)

⊕(+)をまちがえないように注意してください。

単3マンガン乾電池は、単3アルカリ乾電池もご使用になります。

#### 3. リセットボタンを押してください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。  
(15:00, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10)

受信中（最長約20分間）は LED ライトが信号に応じて点灯します。（右記「受信状態について」をご覧ください。）

受信に成功した場合

LED ライトが「緑」で点滅し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」に合わせて秒針が動き出します。秒針の位置確認が終わるまで LED ライト点滅が数分間続きます。

受信できなかった場合

LED ライト消灯後、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。

右記「電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注) 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

## 4. チャイム、数取りを設定してください

切替スイッチ A、B でチャイム、数取りの設定をしてください。スイッチの位置により以下のようになります。

	常時(1日中)鳴らす	暗時鳴止め	常時(1日中)鳴止め
15分毎に鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め → 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め → 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め → 常時 鳴らす
チ イ ム と 数 取 り	数取り 四所のみ → チャイム 正時チャイム	数取り 四所のみ → チャイム 正時チャイム	数取り 四所のみ → チャイム 正時チャイム
1時間毎に正時鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め → 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め → 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め → 常時 鳴らす
数 取 り の み	数取り 四所のみ → チャイム 正時チャイム	数取り 四所のみ → チャイム 正時チャイム	数取り 四所のみ → チャイム 正時チャイム

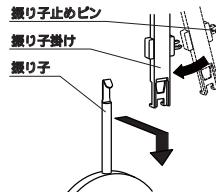
切替スイッチ A を鳴止めにすると、切替スイッチ B がどの位置にあってもチャイムは鳴りません。

光センサーによる自動鳴止めについて  
切替スイッチ A を「暗時鳴止め」にすると、暗いところ（約10ルクス以下）では報時しません。チャイムや数取りの音を気にすることなくおやすみになります。  
暗くなってしまっても音を鳴らす場合は切替スイッチ A を「常時鳴らす」にしてください。

ボリュームつまみをまわして、音量を調節してください。  
MAX — 音量 最大  
MIN — 音量 最小

## 5. 振り子を掛けてください

振り子掛けを左に動かして振り子止めピンからはずし、ぶらぶらの状態にして、振り子を掛けてください。



## 6. ふたを閉めてください

裏ふたを元の通り閉めてください。

## 7. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

**光センサーによる自動秒針停止機能について**  
光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。  
明るくなると「0秒」に合わせて秒針が動き出します。  
秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示します。  
切替スイッチ A を「常時鳴らす」にしますと、暗くなってしまっても秒針は、止まりません。

## その他の機能

### 受信状態について

リセット後の受信中、または強制受信中は、以下のように LED ライトの色によって受信状態を表示します。  
ただし自動受信中は LED ライトは点灯しません。

LED ライトの状態	受信状態
緑が点灯	電波状態が良く受信可能
緑が点灯し、たまに「赤」が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
赤」と「緑」が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
赤が点灯し、たまに「緑」が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
赤」が点灯	電波状態が悪く受信不可能 (受信開始後最初の約2秒間は必ず「赤」が点灯します)

### 受信結果について

通常ご使用中に受信ボタン（Ⓐボタン）を1回押す（2秒以下）と以下のように LED ライトの色によって電波受信結果を表示します。  
“緑”が点滅：24時間以内に受信に成功しています。  
“赤”が点滅：24時間以内に一度も受信できていません。

### 自動受信について

毎日8回、自動で電波受信を行ないます。  
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。  
受信中（最長約20分間）は針が不規則な動きをすることがあります。  
秒針：12時の位置で停止  
分針：約30秒毎に運針

### 電波が受信できなかった場合

#### 1. 電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

受信ボタン（Ⓐボタン）を LED ライトの「赤」が点灯するまで（約2秒）押し続けると、針が停止し受信を開始します。  
受信にかかる時間は、最長約20分間です。  
受信中は、LED ライトが信号に応じて点灯します。  
(上記「受信状態について」をご覧ください。)  
受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えても一度受信させてください。

詳しくは右記「電波クロックについて」をご覧ください。

また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

#### 2. 手動で時刻を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。  
モードボタン（Ⓑボタン）を針が停止するまで（約2秒）押し続けると、針が停止するまで（約2秒）押し続けると、針が停止し受信を開始します。  
受信ボタン（Ⓐボタン）を1回押すと、分針を1分送り、押し続けるとボタンを放すまで、送り続けます。  
モードボタン（Ⓑボタン）を押すと同時に、針が動き出します。

### 受信中・報時中の操作について

受信中・報時中の操作は以下のようになります。

操作	鳴止め (切替スイッチA→鳴止め)	試し鳴らし (モニタ -)	強制受信	受信結果表示
報時中	チャイム(数取り) が止まる	チャイムを演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
試し鳴らし中	チャイム(数取り) が止まる	チャイムを演奏する	無効	受信結果を表示する
自動受信中	——	チャイムを演奏する	受信を中断する	受信結果を表示する
強制受信中	——	無効	——	無効

### 試し鳴らし(モニター)について

モニターボタンを押すと、チャイムを演奏したあとに数取りを3回行ないます。

強制受信中は試し鳴らしはできません。

試し鳴らしを途中で止めるときは、切替スイッチ A を一旦常時鳴らすまたは暗時鳴止めに合わせてから鳴止めにしてください。

## 電波クロックについて

### 電波時計/電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー・情報をせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

### 標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つセシウム原子時計によるものです。



### 電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時刻の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

### 注意

電波障害等により、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所で電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。

電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で時計です。標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行なう一部時刻情報を送信します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様相談室にお問い合わせください。  
(ホームページアドレス http://www.seiko-clock.co.jp )

### 使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。  
ビルの中、ビルの谷間、地下。  
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。  
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。  
工事現場、空港や車両基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。  
乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）  
その他の電波ノイズを発生させるもの近く。  
スチール机等の金属製の家具の上や近く。



### 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。  
(誤受信の防止や、設定時刻を守らしてお使いになりたい場合などにご使用ください。)

受信ボタン（Ⓐボタン）とモードボタン（Ⓑボタン）を同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。

LED ライトが「赤」と「緑」が5回同時に点滅したら受信ボタン（Ⓐボタン）とモードボタン（Ⓑボタン）を放してください。

秒針が「12時の位置」で停止後、分針が動き出します。

秒針が再び動き出したら、左記「電波が受信できなかった場合」

2. 手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。

この機能を設定した後も受信ボタン（Ⓐボタン）を LED ライトの「赤」が点灯するまで（約2秒）押し続けると強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。

この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

### ご注意

この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。

### 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

時計を輸送する場合は電池と振り子をはずし、振り子掛けを元の通りに固定してください。

## 必ずお守りください。安全上のご注意 ▶

### △ 警 告

#### <アルカリ電池について>

- (1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。  
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

#### <梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

### △ 注 意

#### <掛け方について>

時計は確実に掛けしてください。  
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。  
掛けれる場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。  
記載以外の取扱いの場合は、建築メーカー等へご相談ください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を  
上下左右そして手前に軽く動かし、  
正しく掛かっていることを確認し  
てください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき  
添付の掛け具をご使用ください。



石膏ボード・コンクリート等、上記以外  
の壁・柱に掛けるとき  
添付の掛け具は使用しないでください。  
市販の掛け具をご使用ください。

必ずお読みになってからご使用ください。

### 使用場所・お手入れ ▶

#### 使用場所について

##### 下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

● 温度が+10°C (50度) 以上になる所や直射日光のある所。

● 温度が-10°C (氷点下10度) 以下になる所。

● 雷、埃の多い所。

● 空気中に舞い立ったごみが電車や接点に掛まつて時計が止まつたり、音が鳴らなくなることがあります。

● 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁場のある所。

● 浴室など温湯の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

● 振動のある所。不安定な所。

● 工場、台所など多くの油を使用する所。

● ピルーリ系素材の壁や敷物等の上。

壁や敷物および時計を汚したり傷めることができます。



暑い場所 (+50°C以上)



寒い場所 (-10°C以下)



振動の多い場所



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



壁や敷物



車内



振動の多い場所



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所



壁や敷物



温湯の多い場所



工場、台所

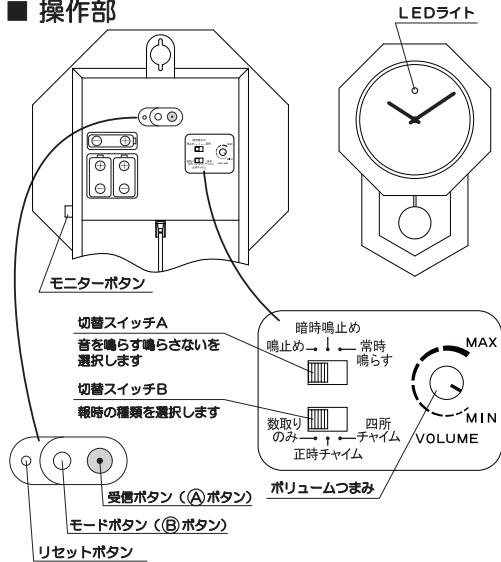


壁や敷物



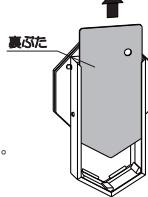
## ご使用方法

### ■ 操作部



### ご注意

時計のデザインによりLEDライト及び電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。



### ■ ご使用方法

#### 1. ふたを開けてください

裏ふたを上にひきあげて開けてください。

#### 2. 電池を入れてください

(単2アルカリ乾電池2個、単3マンガン乾電池1個)

⊕⊖をまちがえないように注意してください。

#### 3. リセットボタンを押してください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

●秒針が「10秒の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。(1:10, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10)

●受信中（最長約20分間）はLEDライトが信号に応じて点灯します。（右記「■受信状態について」をご覧ください。）

●受信に成功した場合

LEDライトが「緑」で点滅し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」に合わせて秒針が動き出します。秒針の位置確認が終わるまでLEDライト点滅が数分間続きます。

●受信できなかった場合

LEDライト消灯後、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。右記「電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信されるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注) 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

### 4. チャイム、数取りを設定してください

① 切替スイッチA、Bでチャイム、数取りの設定をしてください。スイッチの位置により以下のようになります。

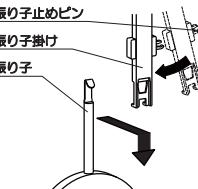
	常時(1日中)鳴らす	暗時鳴止め	常時(1日中)鳴止め
15分毎鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め→常時鳴らす 数取り: 四所のみ→チャイム 正時チャイム	暗時鳴止め 鳴止め→常時鳴らす 数取り: 四所のみ→チャイム 正時チャイム	暗時鳴止め 鳴止め→常時鳴らす 数取り: 四所のみ→チャイム 正時チャイム
1時間毎に正時鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め→常時鳴らす 数取り: 四所のみ→チャイム 正時チャイム	暗時鳴止め 鳴止め→常時鳴らす 数取り: 四所のみ→チャイム 正時チャイム	切替スイッチAを鳴止めにすると、切替スイッチBがどの位置にあってもチャイムは鳴りません。
数取りのみ	暗時鳴止め 鳴止め→常時鳴らす 数取り: 四所のみ→チャイム 正時チャイム	暗時鳴止め 鳴止め→常時鳴らす 数取り: 四所のみ→チャイム 正時チャイム	

●光センサーによる自動鳴止めについて  
切替スイッチAを暗時鳴止めにすると、暗いところ（約10ルクス以下）では報時しません。チャイムや数取りの音を気にすることなくおやすみになります。  
暗くなってしまっても音を鳴らす場合は切替スイッチAを常時鳴らすにしてください。

② ボリュームつまみをまわして、音量を調節してください。  
MAX—音量 最大  
MIN—音量 最小

### 5. 振り子を掛けてください

振り子掛けを左に動かして振り子止めピンからはすし、ぶらぶらの状態にして、振り子を掛けてください。



### 6. ふたを閉めてください

裏ふたを元の通り閉めてください。

### 7. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

## その他の機能

### ■ 受信状態について

リセット後の受信中、または強制受信中は、以下のようにLEDライトの色によって受信状態を表示します。  
ただし自動受信中はLEDライトは点灯しません。

LEDライトの状態	受信状態
“緑”が点灯	電波状態が良く受信可能
“緑”が点灯し、たまに“赤”が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
“赤”と“緑”が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
“赤”が点灯し、たまに“緑”が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
“赤”が点灯	電波状態が悪く受信不可能 (受信開始後最初の約2秒間は必ず“赤”が点灯します)

### ■ 受信結果について

通常ご使用中に受信ボタン（Ⓐボタン）を1回押す（2秒以下）と以下のようにLEDライトの色によって電波受信結果を表示します。  
“緑”が点滅：24時間以内に受信に成功しています。  
“赤”が点滅：24時間以内に一度も受信できていません。

### ■ 自動受信について

毎日8回、自動で電波受信を行ないます。  
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。  
●受信中（最長約20分間）は針が不規則な動きをすることがあります。  
秒針：12時の位置で停止  
分針：約30秒毎に進針

### ■ 電波が受信できなかった場合

#### 1. 電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

受信ボタン（Ⓐボタン）をLEDライトの“赤”が点灯するまで（約2秒）押し続けると、針が停止し受信を開始します。  
受信にかかる時間は、最長約20分間です。  
●受信中は、LEDライトが信号に応じて点灯します。  
(上記「■受信状態について」をご覧ください。)

●受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えて一度受信させてください。

●詳しくは右記「電波クロックについて」をご覧ください。  
また、夜間は屋間にくらべて受信状態が良くなりますので、屋間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

#### 2. 手動で時刻を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。  
① モードボタン（Ⓑボタン）を針が停止するまで（約2秒）押し続けてください。  
② 受信ボタン（Ⓐボタン）を1回押すと、分針を1分送り、押し続けると秒針を放すまで、送り続けます。  
③ モードボタン（Ⓑボタン）を押すと同時に、針が動き出します。

### ■ 受信中・報時中の操作について

受信中・報時中の操作は以下のようになります。

動作	鳴止め (切替スイッチA=鳴止め)	試し鳴らし (モニター)	強制受信	受信結果表示
報時中	チャイム(数取り) が止まる	チャイムを演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
試し鳴らし中	チャイム(数取り) が止まる	チャイムを演奏する	無効	受信結果を表示する
自動受信中	——	チャイムを演奏する	受信を中断する	受信結果を表示する
強制受信中	——	無効	——	無効

### ■ 試し鳴らし（モニター）について

モニターボタンを押すと、チャイムを演奏したあとに数取りを3回行ないます。

●強制受信中は試し鳴らしはできません。  
●試し鳴らしを途中で止めるときは、切替スイッチAを一旦常時鳴らすまたは暗時鳴止めに合わせてから鳴止めにしてください。

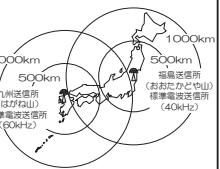
## 電波クロックについて

### ■ 電波時計・電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

### ■ 標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。



### ■ 電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は4kHz（東・福島送信所）、6.0kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

### ■ ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所、電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で時計します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行なうため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）

### ■ 使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- その他の電波ノイズが発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。

### ■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。  
(誤受信の防止や、設定時刻をすらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。)

- ① 受信ボタン（Ⓐボタン）とモードボタン（Ⓑボタン）を同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。
- ② LEDライトの“赤”と“緑”が同時に点滅したら受信ボタン（Ⓐボタン）とモードボタン（Ⓑボタン）を放してください。
- ③ 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出します。
- ④ 秒針が再び動き出したら、左記「■電波が受信できなかった場合」2. 手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。
- この機能を設定した後も受信ボタン（Ⓐボタン）をLEDライトの“赤”が点灯するまで（約2秒）押し続けると強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
- この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

### ■ ご注意

- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
- 時計を輸送する場合は電池と振り子をはずし、振り子掛けを元の通りに固定してください。